

【方向性1～5をすすめるパートナーシップ】

具体目標	行動	取組例
1. 多様な人が金沢SDGs行動計画に参画する	①金沢SDGsについて気軽に学べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●誰もが参加しやすいSDGs勉強会や出前講座、イベント等を開催する</li> <li>●子どもへのSDGs教育を進める</li> <li>●SDGsのまちづくりに関するデータや情報をオープンにする</li> <li>●SDGsの目標と達成状況をわかりやすく発信する</li> <li>・ 情報を受け取る手段として、回覧板、SNS、メディア、会合など多様な手段を組み合わせる。</li> <li>・ SDGsに関する情報について、多くの人が理解しやすいよう、わかりやすい図やデータ、言葉を使うようにする</li> </ul>
	②金沢SDGs行動計画のプロセスとアクションに市民や企業が参画する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●さまざまなコミュニティ、企業、団体、行政組織等の取組を知り、つながる機会をつくる</li> <li>●SDGs行動計画づくりとアクションに市民や企業の意見や対話を反映する</li> <li>●市民や企業が実践するSDGsの取組を情報発信する</li> </ul>
2. 連携による協働で目標を達成する	①多様な人・組織のアイデアやネットワークを活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の既存組織のネットワークを活用する</li> <li>●さまざまな教育現場や生徒、学生と連携した取組を推進しアイデアを実行する</li> <li>・ 大学を超えて活動できるユースチームをつくる</li> </ul>
	②SDGsのアクション起こす基盤をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGsの達成状況や実行主体を見える化して発信する</li> <li>●環境負荷軽減などの共通するテーマに対して市民がディスカッションできる場をつくる</li> <li>・ 各地区の協働の取り組みを他の地域でも活用、定着させる仕組みをつくる</li> <li>・ 市民や学生のアイデアをプロジェクト化する</li> </ul>
	③横串を刺すパートナーシップをすすめ、コレクティブインパクトを生み出す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政の部署横断のプロジェクトを拡充し、まちづくりのプロセスに市民参画や官民協働の取組を意識して進める。</li> <li>●大学間連携、事業者間連携など、目的や分野の近い同業者との協力関係を構築する</li> <li>●パートナーシップによるパイロット事業を立ち上げる</li> </ul>